

教科（科目）	芸術（書道Ⅰ）	単位数	2単位	学年（コース）	1学年 選択必修
使用教科書	教育図書「書Ⅰ」「書Ⅰプライマリーブック」				
副教材等	硬筆レッスン帳				

1 グラデュエーション・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	卒業までに次の資質・能力を育成します。 ① 自己を知り、他者を尊重する思いやりの心を育成します。 ② 自らの進路目標を持ち、その実現に向けて努力する姿勢を育成します。 ③ 自己の住む地域を知り、地域に貢献し、リーダーとなり得る能力を育成します。 ④ 自ら学び、自ら考え判断し行動できる力を育成します。
カリキュラム・ポリシー	資質・能力を育成するために、次のような教育活動を行います。 ① 人権教育、同和教育を計画的に、教科横断的に実施するとともに、日頃からグループ学習などで生徒同士の関わりを大切にします。 ② 多様な進路希望を実現するため、基礎学力の定着やキャリア教育の充実を図り、生徒が主体的に学ぶ進路学習に取り組みます。 ③ 地域と連携しながら、ひと・文化・産業などについて深く学び、他者と協働し発展的な思考を育てる活動を行います。 ④ 「わかる授業」の実践に努め、生徒の学習意欲向上と主体的・対話的で深い学びの実践活動を行います。

2 学習目標

書道の幅広い活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 （１）書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。 （２）書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書的美を味わい捉えたりすることができるようにする。 （３）主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

3 指導の重点

領域毎の基礎的な書写技能の充実を目指す。 書の鑑賞の仕方、歴史を学び、身の回りの書について理解を深める。
--

4 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
書の表現、鑑賞を通じ実感的に理解できる。 意図に基づいて構想し、表の工夫を身に付けている。	書の良さ、美しさを直感的に認知し、知識・技能を生かし書の意味、価値、味わいを追求できる。	書に接し、書を生涯にわたって愛好できるよう表現、鑑賞を一体的に取り組もうとしている。

5 評価規準と評価方法

	各観点における評価方法は次のとおりです。		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価方法	上記の観点を踏まえ、 ・作品の分析 ・用筆法の確認 などから評価します。	上記の観点を踏まえ ・ワークシートの内容確認 ・授業中の創意工夫の観察 などから評価します。	上記の観点を踏まえ ・授業への取組の観察 ・提出物の取組状況 などから評価します。
	内容のまとまりごとに、各観点「A：十分満足できる」、「B：おおむね満足できる」、「C：努力を要する」で評価します。内容のまとまりごとの評価基準は授業で説明します。		

6 学習計画

月	単元名	教材名	学習活動（指導内容）	時間	評価方法
4月	オリエンテーション		年間計画や評価方法についての説明	1	・授業への取組の観察
5月	硬筆 書の美について	硬筆 ノート	・姿勢、用筆法など基本事項 ・楷書、行書の成り立ちについて	13	・作品の分析 ・ワークシートの内容確認 ・授業への取組の観察 ・提出物の取組状況
6月	・楷書 ・隸書	教科書	・漢字古典の成り立ちや鑑賞 ・臨書	10	・作品の分析 ・用筆法の確認 ・ワークシートの内容確認 ・授業への取組の観察 ・提出物の取組状況
7月					
8月	篆書	教科書	・漢字古典の成り立ちや鑑賞 ・臨書	6	・作品の分析 ・用筆法の確認 ・ワークシートの内容確認 ・授業への取組の観察 ・提出物の取組状況
9月					
10月	篆刻	教科書	・篆書と関連づけて自用印の制作 ・印刀の使い方	6	・作品の分析 ・ワークシートの内容確認 ・授業への取組の観察 ・提出物の取組状況
11月	行書		・漢字古典の成り立ちや鑑賞 ・臨書	8	・作品の分析 ・ワークシートの内容確認 ・授業への取組の観察 ・提出物の取組状況
12月	漢字 仮名	教科書	・小筆の使い方 ・日本独特の仮名様式の表現を習得する	12	・作品の分析 ・用筆法の確認 ・ワークシートの内容確認 ・授業への取組の観察 ・提出物の取組状況
1月					
2月	漢字 仮名交じり書	教科書	・小筆の使い方 ・日本独特の仮名様式の表現を習得する ・基本的な表現の中に自らの感興を込める	7	・作品の分析 ・ワークシートの内容確認 ・授業への取組の観察 ・提出物の取組状況
3月					
	まとめ		書道Ⅰのまとめ	1	・授業への取組の観察

計 6 4 時間（55分授業）

7 課題・提出物等

毎時間、添削または作品の提出
硬筆レッスン帳の提出

8 担当者からの一言

書の美への導入、書の特性、学習全体像へのアプローチの仕方などの理解をできるように頑張りましょう。